

平成29年度

事業計画書

公益財団法人たましん地域文化財団

I. 平成 29 年度 事業計画の概要

公益財団法人たましん地域文化財団は、これまで多摩地域の美術・歴史を応援することを使命として事業を行ってきましたが、地域文化に対して「更なる貢献」を果たすべく、そのための新たな一歩として「中期 3 ヶ年計画」を昨年度策定しました。

この中期計画の作成に当っては、当財団の目的である「多摩地域の歴史・美術の振興に寄与すること」を中心に据え、現状の分析・検討から課題を明確にし、その改善を含む形で今後 3 年間に渡って取り組む事業項目を定めました。

公 1（美術館・ギャラリーの運営事業）では、①展覧会の充実、②作家の支援、③地域における美術教育への貢献、④情報発信、を主たる事業項目としました。また、公 2（『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業）では、①『多摩のあゆみ』の一層の充実、②財団所蔵資料の公開、③人的ネットワークの拡充、を主たる事業項目としました。更に、法人全体としては、当財団の実施事業に対する支援者の組織化を検討課題としています。

この平成 29 年度の事業計画は、今後 3 年間で中期計画を達成するために初年度で実施すべき事業を織り込んだ形で年度内実施の事業項目を定めています。

当財団は、地域の皆様から寄せられた多大なご支持、ご支援に対し応えるため従前にも増して事業の公益性を高め、多摩地域の文化発展に貢献することに努めてまいります。

II. 公益目的事業

当財団の公益事業は主に以下の事業、およびそれに付随する事業です。

公 1. 美術館・ギャラリーの運営事業（以下「美術」という。）

公 2. 『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業（以下「歴史」という。）

1. 美術（公 1）

（1）企画展覧会の開催

① たましん歴史・美術館

平成 29 年度は、4 会期の美術展を開催する。

「小貫政之助展」	3 月 21 日(火)～6 月 25 日(日)開館日数 80 日
「五感でみるてんらんかい」	7 月 11 日(火)～9 月 17 日(日)開館日数 59 日
「東洋古陶磁展」併設たましんコレクション絵画展	10 月 3 日(火)～11 月 12 日(日)開館日数 35 日
「たましんコレクション展（前期／後期）」	30 年 1 月 6 日(土)～3 月 4 日(日)開館日数 49 日

※なお、11 月 28 日(火)～12 月 10 日(日)は武蔵野文化協会 100 周年記念展を開催します。

② 御岳美術館

【前期】

「あなただけの風景」

3月25日(土)～11月26日(日)開館日数 212日

【後期】

「武者小路実篤と白樺派の画家たち」(仮題) 30年1月6日(土)～5月13日(日)開館日数 110日

(2) たましんギャラリーの運営

① ギャラリーでの展覧会開催

多摩で活動している作家やグループに展覧会場として無償で提供します。

平成29年度は24会期の展示を予定しており、詳細は以下のとおりです。

1. 村田幽玄の世界展	3月30日(木)～4月11日(火)
2. 富永之廣展	4月13日(木)～4月25日(火)
3. 涌田利之・美江作品展	5月11日(木)～5月23日(火)
4. 松山俊彦展	5月25日(木)～6月6日(火)
5. 小松欽展	6月8日(木)～6月20日(火)
6. 河口聖展	6月22日(木)～7月4日(火)
7. 橋本直一 88展	7月6日(木)～7月18日(火)
8. 池山れい展	7月20日(木)～8月1日(火)
9. 田中秀樹展	8月3日(木)～8月15日(火)
10. 大山学 MAQUNA 展	8月17日(木)～8月29日(火)
11. 廣瀬晴美展	8月31日(木)～9月12日(火)
12. 原田丕展	9月14日(木)～9月26日(火)
13. 坂本龍幸展	9月28日(木)～10月10日(火)
14. 武蔵野アートプロジェクト宮下泉展	10月12日(木)～10月24日(火)
15. 武蔵野アートプロジェクト清田悠紀子展	10月26日(木)～11月7日(火)
16. 武蔵野アートプロジェクト立尾美寿紀展	11月9日(木)～11月21日(火)
17. 武蔵野アートプロジェクト柴田俊明展	11月23日(木・祝)～12月5日(火)
18. 湯浅由美子展	12月7日(木)～12月19日(火)
19. 三多摩美術家連盟展	30年1月11日(土)～1月23日(火)
20. 三多摩美術家連盟展	1月25日(木)～2月6日(火)
21. 財団コレクション展	2月8日(木)～2月20日(火)
22. 財団コレクション展	2月22日(木)～3月6日(火)
23. 財団コレクション展	3月8日(木)～3月20日(火)
24. 未定	3月22日(木)～4月3日(火)

② たましんギャラリー利用の活性化策

ア) 若手作家の招致

28年度に開催した「たましん次世代支援プロジェクト」の次年度開催に向けての準備をします。若手作家の発掘や企画内容の検討を行います。

イ) 多摩にある美術大学との連携

多摩地域にある美術大学（武蔵野美術大学、多摩美術大学、東京造形大学、女子美術大学）との連携を通して利用する作家を発掘します。今年度は、女子美術大学洋画研究室准教授の広瀬晴美氏、武蔵野美術大学洋画研究室推薦の坂本龍幸氏にたましんギャラリーをご利用いただきます。

引続き各美術大学からのギャラリー利用者の誘致を図るほか、次年度以降の美術大学卒業展への利用開放の準備をします。

(3) 作家研究・データベース構築

多摩で活躍し、当財団とも縁の深い「倉田三郎」「佐藤多持」「関頑亭」等について、研究発表の場として将来の企画展開催を視野に、作品や資料を調査等作家の研究を行います。

また、多摩で活躍してきた作家の資料や活動履歴等をデータベースとして構築し、将来の情報発信の基礎づくりを行います。

(4) 美術講座・美術教育

① ギャラリートークの開催

たましん歴史・美術館、御岳美術館において、展覧会開催期間中に、当財団の学芸員が、展示作品の解説をします。いずれもギャラリートークへの参加料は無料です。

【たましん歴史・美術館】

「小貫政之助展」	4月21日(金)・5月26日(金)
「五感でみるてんらんかい」	7月15日(土) : 小学1～3年生対象 7月22日(土) : 小学4～6年生対象 8月26日(土) : 中学生対象
「東洋古陶磁展」	10月19日(木)
「たましんコレクション展 (前期/後期)」	平成30年1月19日(金) 2月23日(金)

【御岳美術館】

「あなただけの風景」	5月13日(土)・10月14日(土)
「武者小路実篤と白樺派の画家たち(仮)」	平成30年4月14日(土) 5月12日(土)

② ワークショップの開催

たましん歴史・美術館で開催する「五感でみるてらんかい」の開催に合せ、子供たちに美術に触れてもらう機会として、ワークショップ（講師・作家などが素材や方法を紹介し、そこから参加者ひとりひとりが造形や鑑賞の手法を愉しみながら身につけることです。）を開催します。講師と大学生サポーターによる体感型の作品鑑賞会です。

③ スケッチ講座

御岳美術館では、本年度も4月、8月、11月各2日、延べ6日を「スケッチの日」とし、来館者にスケッチを体験してもらうイベントを開催します。

参加費、画材は無料とし、また作品完成時に当財団学芸員が受講者にアドバイスをします。各回30名の参加を予定しています。

第1回	4月11日(火)・12日(水)	「桜の日」
第2回	8月19日(土)・20日(日)	「倉田三郎生誕記念日」
第3回	11月2日(木)・3日(金・祝日)	「開館記念日」

なお、御岳美術館では来館者にいつでもスケッチを楽しんでいただけるよう、常時スケッチ道具の無料貸出し、キャンバスボードの販売（1枚100円）を行います。

(5) 地域との連携

たましん歴史・美術館、御岳美術館、たましんギャラリーを拠点とし、個々の特徴を活かしつつ、地域との連携を深めながら、さまざまな事業を行います。

① 美術講演会

くにたちギャラリーネットワーク、(公財)くにたち文化・スポーツ振興財団との共催事業として美術講演会を行います。地域の方々に美術に関する知識を深めてもらうことを目的とし、昨年度同様齊藤陽一氏を講師に迎え、今年度は「琳派」についての3回講座を予定しています。

② くにたちギャラリーネットワーク25周年事業

くにたちギャラリーネットワークは設立25周年を迎えることから、記念事業として以下の事業をおこないます。当財団もその一員として事業に参画します。

- ・国立市内の「ギャラリー」や「野外彫刻」を記した地図「くにたちアート散策」の再作成。(28年度中に完成の予定)
- ・国立市内の「ギャラリー」や「美術作品」等を紹介する小冊子を作成し、上記地図とセットで一般に配布します。

③ 地域との連携強化

地域の美術館や美術大学等との人的交流を図ることから、将来的な連携企画等へと繋げて行きます。今年度は、各美術館学芸員との交流や、地域でのアートイベントへの参加、各美術大学への定期的訪問による教授陣との情報交換等を積極的に行います。

(6) 広報・普及活動、美術資料室の運営等

① 広報手段の拡充

各展覧会への来館促進を図るため、従来のポスター・案内はがき・チラシ等の送付、財団及び美術館案内等ホームページに展覧会情報を公開することに加え、地域向けメディアへの積極的アプローチや未利用の情報掲載可能なホームページ、SNS等の活用を行います。

② 配布先拡大と効果の検証

ポスター・案内はがき・チラシの送付先を一律ではなく、展覧会の企画内容に応じて増加または変更します。また効果の検証を行い、逐次改善を図ります。

③ 収蔵環境の整備

所蔵品の管理を徹底するために、展示、収蔵環境の改善を図ります。今年度は展示室及び収蔵庫の温湿度測定、光量測定を実施するほか、収蔵庫については庫内を整備し、文化財 IPM（総合的有害生物管理）を採り入れ定期的な害虫測定を行います。

④ 美術資料室の運営

多摩地域の美術に関する資料、作品収蔵作家の資料を引続き収集します。

2. 歴史（公2）

(1) 『多摩のあゆみ』の刊行

① 『多摩のあゆみ』の定例発行

各号ごとに特集テーマを定め、各分野にわたる地域の研究者の調査・研究の成果を掲載します。平成 29 年度の特集テーマは、166 号（5 月発行）「郊外行楽地と多摩」（仮題）、167 号（8 月発行）「多摩の化石」（仮題）、168 号（11 月発行）「江戸時代の日記を紐解く」（仮題）、169 号（平成 30 年 2 月発行）「デジタル地図でみる多摩の歴史」（仮題）です。

各号とも 14,000 部を印刷・発行します。歴史資料室受付及び当財団の各施設、たましん本支店で配布するほか、郵送希望の方には定期送付をしています（送料は希望者負担）。また、多摩地域 30 市町村の公立図書館・博物館等に毎号贈呈しており、これら公的機関でも閲覧できるようにしています。

② 誌面の更新

166号(5月発行)より「多摩の金融史」の連載を開始します。現在、多摩金融史研究会において地域金融の歴史を追究しており、その論考を順次掲載します。

(2) 歴史資料室の運営

① 歴史資料室の運営

多摩地域の歴史・文化に関する図書、雑誌、地図、絵葉書、写真、チラシ等を収集・公開します。それぞれの分類表に基づいて整理し、新たに入手した図書と雑誌は歴史資料室の新着コーナーに展示するとともに、『多摩のあゆみ』の「入手資料のごあんない」欄に情報を掲載します。また、当財団のホームページでも資料の検索ができます。

② 国土地理院発行の多色刷地形図の収集

近年、一般財団法人日本地図センターの Web サイトが充実してきて、国土地理院が発行した旧版地形図の多色刷を購入できるようになりました。明治期から平成期にかけての2万5千分1地形図、1万分1地形図、5万分1地形図、合計175点を今年度より3ヶ年計画で収集します。平成29年度には2万5千分1地形図60点を入手予定です。平成30年度には2万5千分1地形図41点と5万分1地形図25点、平成31年度には1万分1地形図49点を入手する予定です。

(3) 多摩の歴史講座

(公財) 東京市町村自治調査会多摩交流センターとの共催事業で、5回の連続講座を実施します。今年度で21回目を迎え、テーマとして中世の武蔵武士団を予定しています。定員110名、受講料は無料です。

(4) 地域とのネットワーク強化

今年度は、国分寺市に移転した東京都立多摩図書館との連携をはじめ、市史編纂等への協力を通じて各市町村とのネットワークを強化します。

(5) 広報・普及活動

① 『多摩のあゆみ』発刊、「多摩の歴史講座」開催等告知

『多摩のあゆみ』と歴史資料室の情報を当財団のホームページにおいて公開します。また「多摩の歴史講座」については、財団ホームページと『多摩のあゆみ』、及び共催先の(公財)東京市町村自治調査会ホームページと機関誌において募集告知をします。

② 『多摩のあゆみ』のデジタルアーカイブ化

『多摩のあゆみ』創刊号から第100号までをデジタル化して、ADEAC(株)のデジタルアーカイブシステムに全国50機関(図書館・博物館)とともに公開して、誰でも閲覧できるようにします。

Ⅲ. 収益事業

1. 物品販売事業及び喫茶事業（収1）

（1）物品販売事業

たましん歴史・美術館ではオリジナルの絵はがきを販売します。また、御岳美術館では、絵はがきなどの販売のほか、地域の作家の陶器、染物等、各種お土産品の委託販売を行います。

（2）喫茶事業

御岳美術館で、来館者にコーヒー、紅茶、ジュース等飲み物を300円で提供します。

事業計画の内訳

公益目的事業

1. 美術館・ギャラリーの運営事業(公1)

(定款第4条第1項第1号、第2号、第4号、第5号、第7号)

(予算額 8,270 千円)

(1)企画展覧会

①たましん歴史・美術館

計画事業 通し番号	計 画				開催 日数	事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間				
1	小貫政之助展	自主	3月21日(火)～ 6月25日(日)		80日	たましんコレクションから、小貫政之助(1925-1988)の油彩画「自画像」を中心に、代表的なモチーフである女を描いた人物画、抽象画、版画約24点と関連資料によって、孤高の画業をご紹介します。 4月21日(金)5月26日(金)ギャラリートーク実施予定。	3,297
2	五感でみるてんらんかい	自主	7月11日(火)～ 9月17日(日)		59日	人にはモノを「みる」「きく」「さわる」「におう」「あじわう」という五つの感覚があります。この展覧会では五感をフル回転して絵画や版画、彫刻、古陶磁などの作品に親しみます。子どもや視覚障がいの方向けですが大人も楽しむことができます。 7月15日(土)7月22日(土)8月26日(土)ギャラリートーク実施予定。 8月3日(木)ワークショップ実施予定。	
3	東洋古陶磁展 ／併設 たましんコレクション絵画展	自主	10月3日(火)～ 11月12日(日)		35日	たましんコレクションから、日本・中国・朝鮮の古陶磁を展示します。たましんコレクションの絵画作品を併設展示します。 10月19日(木)ギャラリートーク実施予定。	
4	たましんコレクション展(前期／後期)	自主	平成30年 1月6日(土)～ 3月4日(日)		49日	たましんコレクションから、絵画、彫刻、工芸の作品を展示します。 1月19日(金)、2月23日(金)ギャラリートーク実施予定。	

② 御岳美術館

計画事業 通し番号	計 画				事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間	開催 日数		
1	【前期】 あなただけの風景	自主	3月25日(土)～ 11月26日(日)	212 日	たましんコレクションから、「あなただけの風景」と題し、明治期から昭和期にかけての風景画を中心に展示します。倉田三郎記念室では、旅先のスケッチから、多摩の風景を展示します。常設展示では、新宿中村屋にゆかりのあった作家の彫刻・絵画作品を展示します。	1,939
2	【後期】 武者小路実篤と白樺派の画家たち (仮題)	自主	平成30年 1月6日(土)～ 5月13日(日)	110 日 (予定)	たましんコレクションから、「武者小路実篤と白樺派の画家たち(仮)」と題し、明治期から昭和期にかけての作品を展示します。倉田三郎記念室では、旅先のスケッチから、フランスの風景を展示します。常設展示では、新宿中村屋にゆかりのあった作家の彫刻・絵画作品を展示します。	

(2)たましんギャラリー

① たましんギャラリーの運営

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	ギャラリーでの展覧会開催	自主	通年土・日・祝日開廊	多摩地域で活動している作家やグループに展覧会場として、無償で提供。今年度は24会期の展示を予定しています。	2,124

②たましんギャラリー利用の活性化策

1	若手作家の招致	自主	通年	28年度に初めて取組んだ「たましん次世代支援プロジェクト」の次年度開催に向けての準備をします。若手作家の発掘や企画内容の検討を行います。	2,124
2	多摩にある美術大学との連携	自主	通年	多摩地域にある美術大学(武蔵野美術大学、多摩美術大学、東京造形大学、女子美術大学)との連携を図り、ギャラリーを利用する作家を発掘します。今年度は、女子美術大学洋画研究室准教授の広瀬晴美氏、武蔵野美術大学洋画研究室推薦の坂本龍幸氏にたましんギャラリーをご利用いただきます。引続き各美術大学からのギャラリー利用者の誘致を図るほか、次年度以降の美術大学卒業展への利用開放を準備します。	

(3)作家研究・データベース構築

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明
	事業名	自主・共催	実施期間	
1	作家研究・データベース構築	自主	通年	多摩で活躍し、当財団とも縁の深い「倉田三郎」「佐藤多持」「関頑亭」等について、将来の研究発表の場として企画展開催を視野に、作品や資料を調査、作家の研究を行います。また、多摩で活躍してきた作家の資料や活動履歴等をデータベースとして構築し、将来の情報発信の基礎づくりを行います。

(4) 美術講座・美術教育

① ギャラリートークの開催

計画事業 通し番号	計 画			計 画	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	
1	【たましん歴史・美術館】 「小貫政之助展」 「五感でみるてらんかい」 「東洋古陶磁展」 「たましんコレクション展」 (前期/後期)	自主	4月21日(金)・5月26日(金) 7月15日(土)：小学1～3年生対象 7月22日(土)：小学4～6年生対象 8月26日(土)：中学生対象 10月19日(木) 平成30年1月19日(金)・2月23日(金)	たましん歴史・美術館において、企画展にあわせてギャラリートークを行います。 (各日とも14:00から開催)	230
	【御岳美術館】 【前期】 「あなただけの風景」 【後期】 武者小路実篤と白樺派の 画家たち(仮題)	自主	5月13日(土)・10月14日(土) 平成30年 4月14日(土)・5月12日(土)	御岳美術館において、展示にあわせてギャラリートークを行います。 (各日とも11:00と13:00からの2回開催)	
②ワークショップの開催					
1	【たましん歴史・美術館】 ワークショップの開催	自主	8月3日(木)	たましん歴史・美術館で開催する「五感でみるてらんかい」の開催に合せ、子供たちに美術に触れてもらう機会として、ワークショップ(講師・作家などが素材や方法を紹介し、そこから参加者ひとりひとりが造形や鑑賞の手法を愉しみながら身につけることです。)を開催します。講師と大学生サポーターによる体感型の作品鑑賞会です。 13:30～15:30 *13時受付 事前申込制10名 講師:井上尚子(女子美術大学講師) 会場:展示室内及び3階ラウンジ ※小学3年生以上対象、10歳以下は保護者同伴可	
③スケッチ講座					
1	【御岳美術館】 スケッチ講座	自主	「桜の日」 4月11日(火)・12日(水) 「倉田三郎生誕記念日」 8月19日(土)・20日(日) 「開館記念日」 11月2日(木)・3日(金・祝日)	「スケッチの日」として、御岳美術館で年間3回(各回2日間)のスケッチ体験講座を行います。参加費は無料で、当財団の学芸員がワンポイントアドバイスも行います。毎回30名の参加を予定しています。	

(5) 地域との連携

① 美術講演会

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	美術講演会	共催	11月8日(水) ・15日(水)・22日(水)	くにたちギャラリーネットワーク、(公財)くにたち文化・スポーツ振興財団との共催事業として美術講演会を行います。地域の方々に美術に関する知識を深めてもらうことを目的とし、「琳派」についての3回講座を予定しています。 講師 斎藤陽一氏 (元NHK「日曜美術館」プロデューサー、嘉悦大学客員教授) 会場 くにたち市民芸術小ホール 募集人員 毎回70名(延べ210名) 受講料 無料	200
②くにたちギャラリーネットワーク25周年事業					
1	小冊子の作成	共催	8月(予定)	くにたちギャラリーネットワークは設立25周年を迎えることから、記念事業として国立市内の「ギャラリー」や「野外彫刻」を記した地図「くにたちアート散策」を再作成し(28年度中に完成予定)、別途その案内となる小冊子を作成して、広く一般に配布します。	
③地域連携企画					
1	地域との連携強化	自主	通年	地域の美術館や美術大学等との人的交流を図ることから、将来的な連携企画等へと繋げて行きます。今年度は、各美術館学芸員との交流や、地域でのアートイベントへの参加、各美術大学への定期的訪問による教授陣との情報交換等を積極的に行います。	

(6) 広報・普及活動、美術資料室の運営等

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	広報手段の拡充	自主	通年	各展覧会への来館促進を図るため、従来のポスター・案内はがき・チラシの送付、財団及び美術館案内等ホームページに展覧会情報を公開するほか、地域向けメディアへの積極的アプローチや未利用の情報掲載可能なホームページ、SNS等の活用を行います。	480
2	配布先拡大と効果の検証	自主	通年	ポスター・案内はがき・チラシの送付先を一律ではなく、展覧会の企画内容に応じて増加または変更します。また効果の検証を行い、逐次改善を図ります。	
3	収蔵環境の整備	自主	通年	所蔵品の管理を徹底するために、展示、収蔵環境の改善を図ります。今年度は展示室及び収蔵庫の温湿度測定、光量測定を実施するほか、収蔵庫については庫内を整備し、文化財IPM(総合的有害生物管理)を採り入れ定期的な害虫測定を行います。	
4	美術資料室の運営	自主	通年	多摩地域の美術に関する資料、作品収蔵作家の資料を引き続き収集します。	

2. 『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業(公2)

(定款第4条第1項第2号、第3号、第4号、第8号)

(予算額 12,790 千円)

(1) 『多摩のあゆみ』の刊行

① 『多摩のあゆみ』の定例発行

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	166号「郊外行楽地と多摩」(仮題)	自主	5月	昭和初期、東京近郊に位置する多摩地域には郊外行楽地が誕生していきました。本号では、戦前から戦後にかけて形成・発展していった各地の郊外行楽地を取り上げます。	9,445
2	167号「多摩の化石」(仮題)	自主	8月	近年、多摩川流域ではゾウや鳥の化石だけでなく、その足跡や植物の化石の発掘が見られます。その研究を踏まえ、数十万年前の多摩の動植物の生態を紹介します。	
3	168号「江戸時代の日記を紐解く」(仮題)	自主	11月	江戸時代の様相を記した日記は、長年にわたって継続的に刊行されています。本号では、村の陰陽師や伊勢参宮、八王子千人同心の上洛日記など、日記の多彩な内容を紹介します。	
4	169号「デジタル地図でみる多摩の歴史」(仮題)	自主	平成30年2月	Google earthに代表されるデジタル地図に、考古遺物の分布などの歴史事象を地図化し、時代をおっての変化や環境との関わりを考察する研究が増えています。130号特集に引き続き、デジタル地図による多摩の歴史研究の可能性を紹介します。	
② 誌面の更新					
1	誌面の更新	自主	5月	166号(5月発行)より「多摩の金融史」の連載を開始します。現在、多摩金融史研究会において地域金融の歴史を追究しており、その論考を順次掲載します。	

(2) 歴史資料室の運営

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	歴史資料室の運営	自主	通年	多摩地域の歴史・文化に関する図書、雑誌、地図、絵葉書、写真、チラシ等を収集・公開します。それぞれの分類表に基づいて整理し、新たに入手した図書と雑誌は歴史資料室の新着コーナーに展示するとともに、『多摩のあゆみ』の「入手資料ごあんない」欄に書誌情報を掲載します。また、当財団のホームページでも資料の検索ができます。	1,360
2	国土地理院発行の多色刷地形図の収集	自主	通年	近年、一般財団法人日本地図センターのWebサイトが充実してきて、国土地理院が発行した旧版地形図の多色刷を購入できるようになりました。明治期から平成期にかけての2万5千分1地形図をはじめ、1万分1地形図と5万分1地形図、合計175点を今年度より3ヶ年計画で収集します。今年度については2万5千分1地形図60点を入手予定です。	

(3)多摩の歴史講座

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	多摩の歴史講座	共催	9月～11月(予定)	(公財)東京市町村自治調査会多摩交流センターとの共催事業で、5回の連続講座を実施します。今年度で21回目を迎え、テーマとして中世の武蔵武士団を予定しています。 会場 多摩信用金庫府中支店4階会議室 定員 110名 受講料 無料	485

(4)地域とのネットワーク強化

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明
	事業名	自主・共催	実施期間	
1	地域とのネットワーク強化	自主	通年	今年度は国分寺市に移転した東京都立多摩図書館との連携をはじめ、市史編纂等への協力を通じて各市町村とのネットワークを強化します。

(5)広報・普及活動

①『多摩のあゆみ』発刊、「多摩の歴史講座」開催等告知

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	『多摩のあゆみ』発刊、 「多摩の歴史講座」開催等 告知	自主	通年	『多摩のあゆみ』と歴史資料室の情報を当財団のホームページにおいて公開します。また、「多摩の歴史講座」はホームページと『多摩のあゆみ』及び、共催先の(公財)東京市町村自治調査会ホームページと機関誌『ぐるり39～自治調査会だより～』に告知します。	200

②『多摩のあゆみ』のデジタルアーカイブ化

1	『多摩のあゆみ』のデジタルアーカイブ化	自主	通年	『多摩のあゆみ』創刊号から第100号までをデジタル化して、ADEAC(株)のデジタルアーカイブシステムに全国50機関(図書館・博物館など)とともに公開して、誰でも閲覧できるようにします。	1,300
---	---------------------	----	----	---	-------

収益目的事業

1. 物品販売事業及び喫茶事業(収1)

(定款第4条第1項第9号)

(予算額 150 千円)

(1) 物品販売事業

計画事業 通し番号	計 画			計 画	予算額
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	(千円)
1	物品販売事業	自主	通年	たましん歴史・美術館で、オリジナルの絵はがきを販売します。御岳美術館では、オリジナルの絵はがきなどの販売のほか、地域の作家の陶器、染物等、各種お土産品の委託販売を行います。	<u>120</u>

(2) 喫茶事業

計画事業 通し番号	計 画			計 画	予算額
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	(千円)
1	喫茶事業	自主	通年	御岳美術館で、来館者にコーヒー、紅茶、ジュース等飲み物を300円で提供します。	<u>30</u>

IV. 管理

1. 役員及び役員会等に関する事業（定款第4条第9号）

（1）理事、監事及び評議員の任期

- ①評議員 平成28年6月17日から就任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
- ②理事 平成28年6月17日から就任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
- ③監事 平成28年6月17日から就任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

（2）理事会等の開催

- ①理事会 年3回
- ②評議員会 年2回
- ③決算監査 年1回